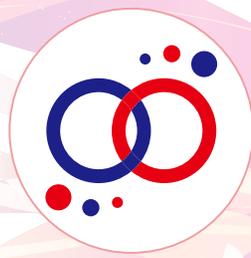


倉敷医療生活協同組合  
**コープリハビリテーション病院**  
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
 TEL 086-444-3212  
 老人保健施設 **老健あかね**  
 TEL 086-446-6541



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



会場全景（於・倉敷中央病院付属予防医療プラザ）

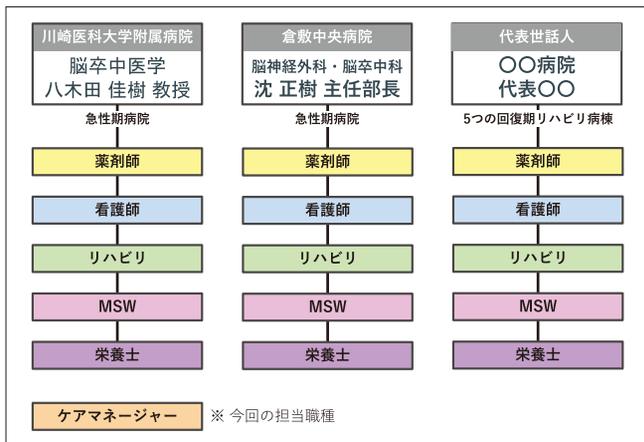
【はじめに】

5月末にタイトルの会が開催されました。脳卒中にかかわる市内の主だった病院の集まりです。その構成が図1です。脳卒中がチームで「ケア」するのを反映し関係する全職

## 倉敷脳卒中チームケア研究会 (K-CAST) の紹介

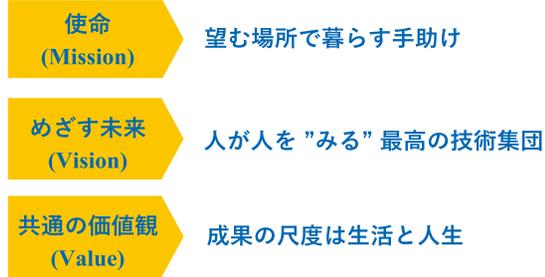
多病で障がいもある高齢者の幸福追求

種が参加します。今回はケアプランサーブスイこいの家の石合瑞恵様プロデュースの3



(図1) 倉敷脳卒中チームケア研究会 (K-CAST) 組織図

経営理念



(図2) コープリハビリテーション病院・老健あかねの理念

講演です。

【在宅医療に限界はあるのか?】(おつじクリニック 胡谷俊樹 副院長)

ご自身が訪問医療の世界に入った動機と教科書的な治療がファースト。ただし在宅医療にはさまざまなリスクがある。でも、少なくとも医療者がそれで限界の壁を作ってはいけな

いと提言。まったく同感です。

「多問題を抱える家族支援をケアマネの視点から考える」(星の家居宅介護支援事業所 田中郁子先生)

患者よりも家族が各々支援が必要なのが入ってわかった事例でした。それをケアマネとして介入し問題から課題整理した根気強い報告です。

【倉敷市の地域包括ケアの状況と在宅医療・介護連携の取り組みについて】(元・健康福祉部長 早川直樹先生)

倉敷市に出向された厚労省の官僚です。介護施策を基

## 韓国社会的医療機関連合会から研修のため到来院

5月23日、韓国から9名(通訳含む)が研修で来院されました。当院への見学は昨年続き2回目です。鍛本院長からコープリハ・老健あかねが果たす役割について説明したあと、服部施設長の案内のもと、どのようなサービスを提供しているのか見学していただきました。



研修団一行の皆様

今も交流が続いています

ちなみに、中曾MSWは岡山県民医連から17年前に韓国の病院に研修参加したよう

に自治体としてできることの提案でした。それは倉敷市に25ヶ所ある高齢者支援センター(地域包括支援センター)に生活支援コーディネーター(倉敷市社会福祉協議会が倉敷市から委託)が加わった街づくりです。込められたメッセージは「希望する場所で療養できる体制づくり」です。

3演題とも当院の理念に合致し励みになりました。この紙面を借りて紹介します(図2)。なお次回のK-CASTは11月。当チームは看護師です。またご報告します。

(コープリハビリテーション病院 管理者 鍛本真一郎)

# 水島南診療所の閉鎖

## コープリハビリテーション病院で診療継続

### 【南の岩としての水島南診療所の閉鎖】

66年間倉敷医療生協の南の岩として連綿と地域の診療を支え続けてきた水島南診療所が5月末をもって閉鎖となり、最後の所長として残念に思っています。通院先の診療所が無くなってご迷惑をお掛けした患者さん、職場を失ってしまった職員達に心から申し訳なく思っています。

してもらおうこととなりました。私は週3日午前中をコープリハビリテーション病院で診療し、午後から往診に出かけることになりました。

コープリハビリテーション病院の外来は6月に入ると週3日は2診体制となります。私は水島南診療所のもう一人の医師が診ていた患者さんも担当します。3割の患者さんは初めてなので事前情報確認に忙しいです。10〜15人程の患者さんを診ていますが少しずつ増えていくと予想されますので大変です。医局は顔なじみの先生達が居られるので和やかな雰囲気です。他愛のない冗談が言えるのは最高です。

### 【コープリハビリテーション病院で週3日の診療】

国の医療政策が中小規模の病院や診療所に対する診療報酬への締め付けによる経営状況の悪化、医師数の慢性的不足と高齢医師の医療継続の限界などが挙げられます。コープリハビリテーション病院で外来の枠を広げての診療と往診患者さんはみずしま協同クリニックの往診チームで担当

### 【みずしま協同クリニックで往診】

一方、みずしま協同クリニックの往診は患者さんも以前のままなので助かっています。往診チームの先生達は



筆者と担当看護師3人 (左から高橋、田口、中島)

若手が4人もいるので大変頼もしい部署です。今後患者数が増加していくものと思えます。私は多少のお手伝いが

# 介護実習を通じて「人を見る」ことを経験してもらっています



利用者様の健康チェック

倉敷中央高校福祉科二年生が、2グループに分かれて4日間の実習に来られました。初日は、とても緊張している様子でしたが利用者様が到着されると「おはようございます！」と元気な声で挨拶されていました。

二年生からは、バイタル(血圧)測定が実践できるようにになり、利用者様へ声をかけて健康チェックをさせていたっていました。

出来ればと考えていますがあと4〜5年は頑張るつもりでいます。

### 【看護師ともどもよろしくお願ひします】

最後に同じ水島南診療所で働いてきた看護師さん達も早く職場に慣れて働きやすい環

症状によって、バイタルの値から注意する点や申し送りの場で利用者様の様子を多職種で情報共有し、ケアにつなげている事にも気づかれています。

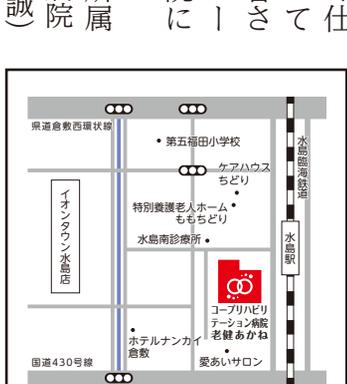
コミュニケーションでは、会話を続けることに集中してしまう場面もありましたが利用者様の話を聞きながら表情や仕草からも気持ちを読み取り「傾聴」・「対話」の重要性も実習を通して学ばれて

いました。介護職にとって、技術や知識ももちろん大切ですが、より良いケアをするにはコミュニケーションスキルが求められます。

1日の終わりには、振りかえりの場を開き、その日の気づいた事や疑問に思ったことを聞き取り、当日の目標の遂行と次回の課題の確認を行っています。

実習で学んだことをさらに磨きをかけ、笑顔と挨拶を忘

境に恵まれて1年でも長く仕事が出来ます事を切に願っています。また診療所の患者さん達を受け入れてくれたコープリハビリテーション病院に感謝します。



**お問い合わせ先**  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00~16:30  
土曜日 9:00~12:00  
(日祝・年末年始を除く)  
〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹館 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]		老健あかね [086-446-6541]			
診療時間	外来	器具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健康アップ教室	訪問リハビリ	通所リハビリ
午前 9:00~12:30	14:30~15:00		午後	9:00~16:50	9:30~11:00		9:00~16:00
月	7/7,8/25 中角 (影節)						
火	渡辺 本田 (予約制)	滝本 (予約制)					
水	飯塚						
木	太田	滝本 (予約制)					
金	香口 本田						
土							

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00~12:00 13:30~16:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝日 休み



利用者様とコミュニケーションを図りながら脳トレの実施

# 新入職員紹介



コープリハビリテーション病院  
5階病棟 看護師  
野添 理絵

いと幸いです。  
(老健あかね  
通所リハビリテーション  
介護福祉士 佐々木 縁  
介護福祉士 堀之内美咲)

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。